

# 会 議 録

会 議 の 名 称	平成 30 年度 第 1 回地域福祉計画推進会議	
開 催 日 時	平成 31 年 1 月 8 日 (火) 15 時 00 分～16 時 50 分	
開 催 場 所	宍粟市役所 北庁舎 401 会議室	
議長 (委員長・会長) 氏 名	地域福祉計画推進会議会長 藤原 慶二	
委 員 氏 名	(出席者) 藤原慶二、釜井廣子、波多野好則 南光隆允、大杉史郎、一坪光恵、 杉本憲昭、大前好美、河津光重、 谷林由美	(欠席者) 春名スマ子
事 務 局 氏 名	健康福祉部 世良部長、大谷次長 健康福祉部社会福祉課 橋本次長兼課長、久内係長、山岸主事	
傍 聴 人 数	0 人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	(非公開の理由)
決 定 事 項	(議題及び決定事項) 別紙のとおり	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
1 開 会	(事務局)
2 あいさつ 事務局	<p>おはようございます。本日は忙しい中お集まりいただきありがとうございます。また、各委員におかれましては日頃から様々な分野にてお世話になっておりますこと、改めてお礼申し上げます。本年もどうぞよろしく願いいたします。さて、前回の会議は平成 29 年度 3 月に開催させていただいております。その際は、現在の第 2 期宍粟市地域福祉計画の中間年の取り組み状況の確認をしていただいております。今回の会議につきましては、第 3 期宍粟市地域福祉計画の策定に向けたスケジュール等の説明をいたしまして、皆様からご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>最後になりましたが、新たに学識経験者として関西福祉大学藤原慶二准教授に新委員としてお世話になり、また、老人クラブ連合会前会長としてお世話になっておりました船曳会長が前年度をもって退任されましたので、宍粟市老人クラブ連合会現会長大杉会長が新委員として就任していただいていることを報告いたします。</p>
3 委員の紹介	各委員と事務局職員の自己紹介
4 会長の選出 事務局	<p>前会長の委員退任により、改めて新会長を選出願いたいですが、選出方法はどのようにいたしましょうか。(事務局一任の声あり。)</p> <p>事務局案として会長に藤原慶二氏を提案。承認いただける委員は拍手をお願いします。(出席委員全員の拍手により選出。)</p>
会長	<p>こんにちは。先にご紹介いただきました藤原です。第 3 期計画の策定に向けて、宍粟市のアイデンティティを活かすことを考えながら、皆様で忌憚のない意見を出し合っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
5 協議事項 会長	<p>それでは協議事項に入ります。協議事項は次第に沿って行います。初めに第 3 期宍粟市地域福祉計画の策定について事務局より説明をお願いします。</p> <p><b>【事務局説明】</b>(計画の趣旨、計画策定に向けたスケジュール)</p>
会長	<p>計画の趣旨については大きく変わることはないと思います。しかし、時代背景は 5 年前の第 2 期宍粟市地域福祉計画策定時から変化しており、それを踏まえた計画の策定が必要であると思います。</p>
委員	<p>計画策定に向けて、スケジュール通りの策定手順で進むようお願いいたします。</p>
事務局	<p>承知しました。</p>

会長	説明があったスケジュールの場合、社会福祉協議会の地域福祉推進計画との整合性はいかがですか。
委員	社会福祉協議会の地域福祉計画策定のスケジュールは協議開始時期、策定に係る委員についても調整中の段階です。宍粟市地域福祉計画との関連があるので、策定委員の選考も含めて検討しているところであり、今後早期に策定に取り掛かっていきたいと思います。
会長	この協議事項について他にご意見等はありませんか。(意見なし) ご意見がないようなので次の協議事項であるアンケート調査についての協議に移ります。事務局より説明をよろしく願いいたします。  <b>【事務局説明】(アンケート調査について)</b>
会長	アンケート内容について、各委員から意見ををお願いします。
委員	<b>【第2項「福祉についておたずねします。」について】</b> 一般の方は「福祉」といわれてもそのイメージが難しいと思う。設問の前に、福祉とは何かの説明があればよいと思う。 <b>【問 8-1】</b> 回答項目に「保健・医療」とあるが、私は保健・医療・福祉とそれぞれ3つ別に並んでいるものと考え、「福祉」の中に「保健・医療」があるイメージはないと感じました。 <b>【問 15】</b> 回答項目に、「市民」と「行政」だけでなく、社会福祉協議会やケアマネジャー等の福祉の専門機関等を入れてもいいと思いました。 <b>【問 20-3】</b> 自治会やPTA活動への参加について、「無」と回答した際の理由に自己都合によるものが多い。地域で活動がしたくても、地域にそれだけの元気がないためできない方もいるかもしれないのでそういった内容を回答項目に入れてはどうかと感じました。 <b>【問 21-2】</b> 今後参加したいものとして、回答項目に趣味や特技を生かした活動も含めてはどうかと思いました。 <b>【問 21-3】</b> 設問の「ボランティア活動をしたくない」には、理由があって活動できない場合もあるだろうと思います。今の項目では、回答者に否定的なイメージを強く持たれてしまう恐れもあるので、設問の表現を再考してほしいと思います。 <b>【問 22】</b> 回答項目1、「気軽に相談できる窓口を設置する」について、社会福祉協議会ですでにボランティアセンターを設置しているので表現を再考してほしい。 <b>【問 23】</b> 回答項目に、災害時に役立つ資材や食料などの備蓄といったハード面のことも

	<p>入れてはどうかと思います。</p> <p>【問 24】 設問の文言について、最近の出来事として現に平成 30 年 7 月豪雨が発生した現状を考えれば、「もし」という表現ではなく、災害が起こるようになってきたなかで、どのような不安であったかと変更したほうが回答しやすいのではないかと。</p> <p>【問 32】 回答項目 2 に住民による見守り、3 に小地域福祉活動の推進が別々に記載してあります。実際は、小地域福祉活動の中に見守りもあると思うので、回答項目 3 は 2 と同じく小地域福祉活動の一環であるふれあいサロン等の住民の居場所づくりの支援などとしてはどうでしょうか。（第 11 項「宍粟市の地域福祉施策についておたずねします。」の内容に合わせる。）また、回答項目内に、障害福祉サービスの充実及び結婚促進事業の充実などを加えてはどうか。</p>
事務局	委員からいただいた意見、また今後出てくる意見を十分に考慮したうえ、アンケート内の設問内容や表現について再度検討します。
会長	ほかの委員からご意見ございませんか。
委員	事前に配布のあったアンケートのサンプルを利用し、一度自分で回答を試みたが、【問 32】回答項目 6 地域住民への福祉に関する啓発活動というのが抽象的で分かりづらかったです。社会福祉協議会は普段から福祉に関する普及啓発をなされているのか、また福祉に関する普及啓発とはどのようなものか教えていただきたい。
委員	福祉に関する普及啓発には、地域や学校での福祉体験学習や広報活動など幅広いものがある。【問 32】回答項目 7.8 にすでにそれらが記載してあるため、大杉委員の言われるように回答項目 6 の記載は抽象的で選択しにくいものになっていると思います。
委員	せっかくアンケートを行い地域住民の意見を得る機会なのでできるだけ適確な情報の収集が望まれると思います。しかし、【問 32】回答項目 6 のような漠然とした内容だと抽象的で、回答しにくいと、結果的に他の回答を選択するという事になってしまう。そのため、抽象的な表現は極力控え、回答者が回答しやすいアンケートを作成してほしいです。
会長	【問 32】の回答項目を作成する際には、社会福祉協議会と活動・支援の内容について、出席の社協委員と事務局で十分に情報共有され、特に必要なものを想定し回答項目に組み込んでいけば、一番実態に即した内容となると思うので、修正をお願いします。
事務局	承知しました。
事務局	【問 32】について、生活困窮者支援の充実も加えることはできないでしょうか。

委員	社会福祉協議会では、貸付け等により生活困窮者への支援を行っているため、生活困窮事業の充実も十分に加える余地はあると思います。
事務局	福祉の括りの中で、介護や障害といったことは、対象となる方もはっきりしやすいものであるが、生活困窮となると潜在的なものを含めて表だってわかりにくいため、生活困窮の項目を加えることで、アンケート協力者から本当の思いもくみとれるのではないかと思います。
会長	他にも追加項目が上がってくるかもしれないので相談しながら進めるということでもよろしいですか。(はい) 他のご意見をお願いします。
事務局	アンケート内に「福祉」と「地域福祉」というそれぞれの記載をしているが、市民にとって福祉の捉え方にずれといったものはあると思われますか。
会長	私の感覚的には、やはり多少のずれはあると思う。特に顕著なのが、例えば高校生にそれぞれの福祉を聞いた時に、「福祉」について聞くと、ほとんどの生徒が介護をイメージするので、結果、その対象者は高齢者となる。しかし「地域福祉」と聞くとどのようなものかわからないとなる傾向にあります。「福祉」「地域福祉」には、捉えるイメージにそれぞれ違いがでてくるのも事実で、アンケート記入の面で判断しにくい時もあると、感覚的には思います。
委員	「福祉」「地域福祉」のイメージを整理することは難しいとも思う。ただ、アンケートを通じて「地域福祉」を知ってもらえればと思うので、アンケートを通じてその点を見せていければと思います。
会長	他のご意見をお願いします。
副会長	ひとつは前回第2期計画時に委員として関わり、その時はアンケートからパブリックコメント実施までの間、相当の日数がかかり完成時期がずれこんだと思います。第3期の策定ではできる限りスケジュールに沿って計画通り策定を進めてほしいです。 つぎは、本アンケートには専門機関の名称もいくつかあり、中でも地域包括支援センターは、実際に関わった方でない知らない方も多いと思います。アンケートは無作為抽出であり、福祉と全く関係ない方の回答も想定されるので、専門機関等の用語のある設問の近くにはその役割等を記載する方が正確な回答が得られやすいと思います。
事務局	ご意見ありがとうございます。
会長	【問2】の回答は「年代」ではなく「年齢」で記載してもらった方が集計及び実態把握の幅が広がり、より高い効果を得られると思います。
事務局	承知しました。

委員	<p>【問 17】について、地域住民が取り組む課題とあるが、既に市民は密な取り組みをしているとも思うし、【問 17】の回答選択肢選択ではどう判断すればよいかわからないところがある。</p> <p>【問 20-3】の回答選択肢に、「情報が入っていない」とあるが、市から地域活動の情報の啓発や啓もうが市民に無いとして、回答するのかわからない。</p> <p>【問 37】について、特に困っていることを書くのか、それともニーズを把握するものかどうかわからない。例えば、市の総合計画などにある市の施策例が載っていると、困っていることなど書きやすいのだけれども…。</p>
会長	今の質問が、地域福祉の捉え方の難しいところを表しているといえます。
委員	【問 37】は単に感想を書く、感じたことを書くという事で良いのでないでしょうか。
会長	【問 17】の「地域住民が取り組むべき」という文言は、行政が地域の問題を地域住民に投げているという印象があります。
事務局	<p>【問 17】の設問は「地域住民が取り組むべき」とせず、「地域にどのような課題や問題があるのか」を確認するような問いかけにしたい、また、【問 17】や【問 20-3】の回答選択肢は具体的に記載すると当てはまらないケースもあるので、広い意味で考え答えてもらうようにしています。【問 37】の設問は回答内容を限定しているものでなく、アンケート内容では対応しきれない思いを自由に記載できるようすることを目的としています。</p>
委員	他に意見はないでしょうか
委員	アンケート内の設問にいくつか「地域」とあるが、どの範囲を指されているのか。
事務局	【問 12】に基づきます。そのため、回答者によって「地域」のイメージは変わってくると思います。この「地域」を確認することで、クロス集計の際に地域範囲ごとの傾向を把握できると思っています。
会長	アンケート分析の手法のなかで、「地域」のとらえ方の疑問もある程度解決できるかなと思います。これが、アンケート分析結果が、各地域で話し合うきっかけとなればアンケートをとる意味も大いに出てくると思います。
会長	他に意見はないでしょうか。(意見なし) では、次にアンケートの対象者選出方法について協議したいと思います。 事務局より説明をお願いします。
	<p>【事務局説明】</p> <p>事務局案</p> <p>調査対象者数 2000 人、対象年齢 20 歳以上、市人権推進課が平成 30 年 12 月に</p>

	男女共同参画プランのアンケート対象者を実施しており、短期間に重ねてアンケート依頼する方もあるので、そのアンケート対象者を除いたうえで無作為抽出をしたいと考えます。
委員	調査対象者の規模や抽出方法について、世には多くの調査手法があるが、事務局案はそれらも検討したうえでのものでしょうか。
事務局	地域福祉計画策定は行政計画等実績あるコンサルタント会社に業務委託を行っておりアンケート実施等、集計、分析等もお世話になっている。手法はもちろんですが、アンケートの回収にあたって、3～4割の回収率があれば調査結果からある程度の傾向を把握できるという専門的見地からも意見をもらい確認しています。
会長	調査対象者の規模ですが、宍粟市と同規模の自治体のアンケート調査を勘案した場合、2,000人という規模は妥当であると思います。男女共同参画の対象者を除いて選定することについて意見を伺いたいと思います。
委員	12月の男女共同参画プランのアンケートと本アンケートの内容は似たものなのですか。また、共同参画アンケートの回収率はどうですか。
事務局	本アンケートと男女共同参画プランのアンケートは性質の異なるものとなります。男女共同参画プランのアンケート回収率はまだ出ていないと、担当課から聞いています。
委員	内容が全然違うのであれば、調整する意味はあるのだろうか。また、対象者年齢について、選挙権は18歳となったが、本アンケートも18歳としなくてよいのですか。
会長	18歳とした場合、なにか変化が想定されるか。
事務局	高校生が対象者に入ってくると思います。
委員	高校生を対象とする場合、本アンケートを見て高校生が内容を理解できるものかどうかが大切である。そうでない場合は、アンケート内容を変更する必要がある。逆に言うと、アンケート内容が誰にでも理解できるものであれば対象年齢にこだわる必要はないと思います。
会長	対象年齢については様々な意見があると思いますが、高校生が一部含まれることにもなるので、18歳以上とする検討は、時間をかけて一定の協議を行う必要があると思います。今回に関しては、2歳差により調査結果が大きく変わることはないと思うので、対象年齢は20歳で実施することとしてよろしいでしょうか。
	(委員異議なし)

<p>会長</p>	<p>次に本アンケート対象者から男女共同参画プランのアンケートの対象者を除くことについてですが、無作為抽出法ということも考えればあえて除く必要はないと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(委員異議なし)</p>
<p>会長</p>	<p>ではアンケートについては、「調査対象者数 2000 人、対象年齢 20 歳以上、無作為抽出法」での実施をお願いします。この他アンケートで気になる事がありましたら、事務局に連絡をいただければと思います。また今後の予定等教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>アンケートは「調査対象者数 2000 人、対象年齢 20 歳以上、無作為抽出法」とさせていただきます。また本会議でいただいた意見を踏まえ、事務局でも整理の上加筆・修正を行います。修正後のものについては、委員様へ郵送しますのでご確認をお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>以上で協議事項を終わります。続いて「5 その他」をお願いします。</p> <p><b>【事務局説明】</b>  当日資料である人口 世帯数等の状況、人口ピラミッド表について説明。  次回会議予定を 3 月下旬～4 月中旬とする。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは私の進行はこれで終わります。ありがとうございました。事務局へお返しします。</p> <p><b>【事務局】</b>  会長へ円滑な進行について謝辞を述べる。  委員に活発に協議いただいたことに謝辞を述べる。  会議録は公開につき市ホームページ掲載により市民公開とさせていただくことを説明。</p>
<p>6 閉会 副会長</p>	<p>皆様、本日は年明けでご多忙の中、本会議へ参加いただき貴重なご意見をいただきましたことお礼申し上げます。皆様の尽力もあり、無事アンケートの素案もできたのではないかと思います。また、事務局の皆様にも厳しいスケジュールの中で非常にお世話になりますが、どうぞよろしく願いいたします。なんといっても市民アンケートは、市民の方の声を集約し、計画に反映させる非常に重要な役割を持っていると思います。そのため本会議で出た意見を踏まえ、アンケート内容を十分に精査していただき、市民からより良い意見を集約できるようなものとしていただきたいと思います。最後になりましたが、改めて本日は貴重な時間をいただきましたこと誠にありがとうございました。これで閉会の言葉とさせていただきます。</p>

\* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。